《研究課題名》
未熟児網膜症治療が認知機能・斜視に与える影響

《研究対象者》
2003 年 1 月から 2023 年 9 月の間に周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録された方

研究協力のお願い
　滋賀医科大学において周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録された情報を用いて、上記研究課題名の研究を行います。こ研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。
　なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について
《研究課題名》
未熟児網膜症治療が認知機能・斜視に与える影響

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2031 年 3 月 31 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　眼科学講座　小幡峻平

（２）研究の意義、目的について
《意義》
未熟児網膜症治療（レーザー治療、抗血管内皮増殖因子治療）が認知機能・斜視に与える影響を検討することによって、治療法別の将来への影響を解明し、治療選択といった、日常臨床に直結した貢献ができることを期待します。

《目的》
データベースを用いて未熟児網膜症治療が認知機能・斜視に与える影響の解明をめざします。

（３）研究の方法について
《研究の内容》
周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録され、未熟児網膜症に対する治療を行なわれた児の治療法別の将来の認知機能・斜視に与える影響を検討します。

《利用し、又は提供する情報の項目》
　お子さんの性別、出生体重、出生週数、疾患などの身体情報、お母様の生活背景や分娩状況、未熟児網膜症の治療状況、神経発達・斜視の情報などを周産期母子医療センターネットワークデータ

ベースを用いて調べます。

《情報の管理について責任を有する者》

眼科学講座　小幡峻平

（４）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　眼科学講座　　小幡峻平

住　　所： 520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町

電 話 番 号： 077-548-2276

メールアドレス： hqophth@belle.shiga-med.ac.jp

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.